



平成28年5月13日

各 位

会 社 名 ニッポン高度紙工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山岡 俊則  
( J A S D A Q ・ コード 3 8 9 1 )  
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 溝渕 泰司  
TEL 088 (894) 2321

### 営業外費用（為替差損）の計上および

#### 平成28年3月期通期連結業績予想値と決算数値との差異に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）において、下記のとおり営業外費用（為替差損）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成27年11月2日に公表いたしました平成28年3月期の連結業績予想値と本日公表の決算数値に差異が生じたので、あわせてお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 営業外費用（為替差損）の計上について

為替相場の変動により、平成28年3月期において、為替差損104百万円を営業外費用に計上いたしました。

これは、主に海外子会社への貸付金等の外貨建債権債務の評価替えにより発生したものであります。

##### 2. 平成28年3月期 通期 連結業績予想数値と実績値との差異（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,000	200	370	290	26.96
今回実績 (B)	11,617	96	129	55	5.20
増減額 (B-A)	△383	△104	△241	△235	
増減率 (%)	△3.2	△52.0	△65.1	△81.0	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	12,930	547	757	443	41.25

##### 3. 差異が生じた理由

平成28年3月期通期連結業績における売上高は、コンデンサ用セパレータは車載向けが安定的に推移しましたが、中国経済の減速等により、産業機器向けおよび白物家電向けが伸び悩んだことに加えて、電池用セパレータについても、前回予想を下回りました。

また、営業利益については、売上高の減少による稼働率等の要因により減少し、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の為替差損等の計上により前回予想を下回る結果となりました。

以 上